

# ひろば 大代

No.462

平成30年1月号

大田市の人口  
(H29.12.31 現在)  
大田市 35,549人  
内大代町 366人  
男 161人  
女 205人

## 新年のご挨拶

大代まちづくり

センター長



大代高山会 会長 佐藤哲朗

明けましておめでとーございませう。

皆様には輝かしい新春を、お健やかに  
お迎えのことと心よりお慶び申し上げ  
ます。

昨年1年間まちづくりセンター・大  
代高山会の運営にご協力頂き有難うご  
ざいました。

「ひろば大代」3月号からタイトル  
部分のデザインを変更し、最新の大田  
市と大代町の人口を記載しています。  
これを機に人口推移を調べてみたら、  
1947年(昭和22年)私が生まれた

年)11月に臨時に実施された国勢調査  
によると大田市(旧安濃郡・近摩郡)は  
77,502人、大代町(大家村・八代  
村)1,982人とありました。201  
7年(平成29年)12月31日現在と比較  
すると、この70年間に大田市全体は1  
/2弱(45・8%)大代町は1/5弱  
(18・4%)に減少しています。大代  
町の高齢化率(65歳以上)は54・3%  
限界集落を超えた危機状態です。

島根県地域振興部しまね暮らし推進  
課「しまねの郷づくり応援サイト」で、  
各市町村の地区単位の人口シミュレ  
ーションが出ていました。

大代町の人口予測は現状が続いた場  
合、2030年の予測で77人と衝撃的  
な数字でした。現在の人口を維持する  
には、毎年20・30歳代の夫婦(子供連れ  
1人)3組のUIターンの移住がある  
と370人、高齢化率(65歳以上)3  
7・2%と予測が出ました。

人口減少や高齢化が進む過疎地域等  
の集落では、今後、暮らしを続けてい

くことが危ぶまれる状況が全国各地で  
拡大しています。こうした状況に対し、  
地域の再生を目指す新たな取り組みとし  
て国は、暮らしの安心と希望をつなぐ  
「小さな拠点」づくりを通じて持続可  
能な集落づくりに取り組んでいます。

大田市に於いても、まちづくりセン  
ター単位の住民が主体となって運営組  
織を立上げ、その組織が中心となって、  
地域で暮らししていくために必要な、次  
の4つ

- ① 生活機能の確保(介護予防事業・配  
食サービス・買い物支援・見守りサ  
ービス・草刈等)
  - ② 生活交通の確保(自治会輸送・乗り  
合いタクシー等)
  - ③ 地域産業の振興(耕作放棄地解消・  
特産品づくり・産直市場開設等)
  - ④ 定住対策の促進(UIターンの促進・  
空き家対策・子育て支援等)を柱と  
した取組が進められます。
- 大代町に於いても連合自治会を中心  
にして、この取組を進めていく為の検

討を行わなければなりません。

明るく活力ある町づくりの為、町民皆様のご協力をお願い致します。

※「しまねの郷づくり応援サイト」地区別人口シミュレーションは2015年時点過去5年間の人口推移を基に算出。

## 年頭の挨拶

大田市議会

副議長 木村幸司



新年、明けましておめでとうございます。穏やかな年明け、どちら様も健康やかに新年をお迎えの事と、お慶び申し上げます。

今年「**戊戌**」年。良いことはより良くなり、悪いことはより悪くなる年なのだそうです。

戊という字は滅の当て字のようで、滅びる＝草木が枯れてしまう状態を表すそうですが、反面、枯れて滅びれば新しいものが生まれます、出産関連は戌の日と言われるように、新しいものを生み出すには、最適な年なのだそうです。とにかく前向きに、良い方向に

向いて努力をしていけば、良い結果が出るのが「**戊戌**」年との事。私自身も、前向きに、あらゆる事が良くなることを願って、益々研鑽に努めてまいりたいと思います。

私が中学校のPTA会長をさせていただいていた頃、「バカ」これをなんと読みますかと言う挨拶をさせていただいていました。「ばか」ではなく「ばりき」と読みます。悪い事と思わず、良いことに転じて前向きに生きていきましようと言う挨拶でした。

「**戊戌**」のこの年、良いことはよくなる年です、良いことだけを考えると益々精進してまいりましょう。皆様ともども、より良い一年となりますようにご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。今年も宜しくお願ひ申し上げます。

## 学校給食をありがとう

東京石見高山会 会長 市原幸文  
大代の皆様、新年明けましておめで



とうございます。皆様にはお健やかに新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

私は現在、管理栄養士として大学で「食事と健康」についてお話をしています。そもそも私が「食事と健康」について勉強したいと考えたきっかけは大代中学校2年生（昭和38年）の時に開始された「完全給食」にあります。

それまでは脱脂粉乳をミキサーで攪拌した「ミルク給食」と冬場にはお母さん方の手作りの温かい「味噌汁給食」で、家から持参した弁当を頂いていました。

10月になり、初めて小学校の調理場で調理されたお料理が届いた時のことを思い出します。それは、温かくて、彩りが良くて、素晴らしい香りがしていました。一口食べて、その美味しさに、頬っぺたも落ちてしまいそうでした。毎日まいにち違う料理が出てきました。サラダにりんごが入っているのにはびっくりしました。りんごは剥い

て食べるものと思ひ込んでいたのです。この学校給食の体験は後に私に栄養士の道を進ませることになります。

高校に進み、栄養士のことを調べると、どうやら栄養士は女性の仕事のようにでした。私は10歳年上の姉に恐る恐る「男が栄養士になってもおかしくないかなあ？」と相談したのです。姉は

「コックさんは殆どが男性だし、栄養のことを勉強する男の栄養士が居てもいいわよ」とアドバイスしてくれました。

大代の長年の願いであった「完全給食」の実施は、当時のPTA会長の泉朋納さん、上野武三校長先生をはじめ自治会の方々の強力なご助力の賜物でした。

## 新年のハハ挨拶



関西高山会 会長 坂井 晋

大代町の皆さん、また東京石見高山会、関西高山会の皆さん、明けまして

おめでとうございます。すがすがしい新年をお迎えのことと拝察いたします。昨年、第26回総会にてご出席の皆さんのご賛同を得て関西高山会会長の引き継ぎ、その後大代町での『都市とふるさとを結ぶ交流会』そしてはじめて『東京石見高山会総会』に出席させていただきました。

特に東京石見高山会の皆さんとは初対面の方がたくさんおられ（中学校3年まで植松にいましたのでその頃お逢いしているかもしれませんが）まずはお互いに自己紹介。

それから「子供の頃あだった、こうだった」とお話ししているうちにパズルが解けるようにふるさとでの共通の話題になり、とても楽しいひと時でした。大代町の皆さんともそうですが、東京石見高山会の皆さんともっと交流を深めていけたらいいなと感じた次第です。

本年度の総会は、6月10日（日）（大阪リバーサイドホテル）で予定してお

ります。同窓会として活用していただくのもいいかなと思っています。ご予定に入れていただければ幸いです。

「えーそうだったの！」

少年時代に遊びに行つた川や小道を調べたくて国土地理院の地図（1:25,000）を購入しました。

県道バイパスから見た大江高山





大江高山に目をやると808の数字。その左下に779の数字。えーそうだったの！しらなかったー。

調べてみると植松や中学校から見えていたのは大江高山(808)ではなく、その西峰(779)でした。したがってよく目にする画像も手前の山は大江高山の西峰。しかし、きれいな山ですネ。

## 健康サロンへつれられて



連合自治会長 森 守

毎年春夏秋冬に取り組んでいる健康サロンに妻に誘われるまま、女性パウーの後を一人ぼっちでついて歩む私がいる。昔に良く遊んだ所に来ると子供の頃の話で花が咲きます。

本当に昔が懐かしく思い起され、昔が良かったなあーと…その頃によく遊んだ友は、今都会の方でどのような日々を過ごしているのだろうか？

私は人ごみや車々の街は、もういない。それよりも自分の育った田舎で親の残してくれた田畑を守りながら自分の思いで動く毎日だから、食事頃にはいなくなり妻に怒られてばかりです。やり始めると自分の思っている作業の目処が立つまでやってしまうのでこれが怒らせてしまう事になります。そんな日暮しを75才までやって来ました。

これから先、どの位生き延びられるだろう？せめて大好きなゴルフが出来る事を祈りつつ、その日暮しをする事になります。本年もよろしく願いをして御挨拶と致します。

## 平和は嬉しいものだ



寿会 会長 日向 良

今年一月五日に三中の生徒二人が、先生に付き添われ我が家にやって来た。そして「戦争の当時の話をしてくれな

いか」と言ったので、六十年前の体験した事を話す事にした。

当時、昭和十六年十二月八日に大東亜戦争が勃発し、日本海軍の真珠湾攻撃で幕明けとなる。当時、日本国民はその戦果に喝采したものである。そして、それが戦時教育の始まりである。

そこで小生の生い立ちを話す必要がある。小生は松江工業機械に在籍していた。その松江工業は明治四十年四月に創設され、その時の名称は『松江市立工業学校修道館』と称され後に県立となる。

さて吾々は一年生の中頃から通年動員され軍需工場に行く事となる。そして『欲しがりません、勝つまでは』と言う標語に踊らせたのである。他の科の者は荒地の開墾、そして塹壕掘り等に狩り出された。

そして二十年八月十五日敗戦。天皇陛下の玉音放送で終わりとなる。今思えば当時はつらかった。平和とは良いものだ。

## 新年を迎えて

大代消防分団 長谷和孝

新年明けましておめでとうございます。

平素より消防団活動に對しましてご理解ご協力ありがとうございます。

昨年大代町では、大きな災害や火災もなく穏やかな1年であったと思いますが、大田市で見ますと家屋火災や行方不明者の搜索など、かなりの件数があります。夏場の草焼等、気をつけているにもかかわらず延焼することがありますので十分に注意して下さい。

日中に地元にいる団員も少なく、普段から、防災並びに減災（家具や大型家電などの固定）を意識して今年も火災や災害のない安全安心な1年であってほしいものです。

## 中山間地の米づくりを

### 誰が担い、誰が守るのか



農業委員 横手新治郎

明けましておめでとうございます。

皆様にはお健やかに新しい年をお迎えることとお喜びを申し上げます。

大代町の稲作農業は、高齢化や過疎化による労力不足、不在地主の増加、鳥獣被害の多発、農地の遊休化など、さまざまな問題を抱えております。

米価は若干の値上がりがあったものの、所得増大にはつながらない程度でした。また、国による直接支払交付金（反当り7,500円）も今年度で打ち切られることとなります。

その予算額は、水田活用の直接支払交付金（転作作物の補助）に154億円増額、本年の秋に受付が始まる収入保険制度に272億円、土地改良の関連事業費として328億円に振り向けられるようです。

中山間地域の小規模農家には、影が薄くなつていくような予算となります。

水田ごとの高低差がきつい法面の草刈作業の多い地域では、平場に比べるとはるかに大きい負担があり、規模拡大にも限界があり、所得の増加も望め

そうにない現状です。農地維持の観点からは、地域に住む私たちが、地域の農業を「どうしたいか」、そのためには「何が必要であるか」を話し合っていくことが大切です。

一昨年の4月改正農業委員会法が施行され、大田市農業委員会は、2月から新しい法律により委員が任命されることになっております。

あわせて今回から「農地利用最適化推進委員」が旧町から1名任命され、農地を守る活動が強化されます。

地域の人びとみんなで協力して、農地を守り、活かしていくことが強く求められます。私こと

農業委員が一月末を以って任期満了となります。微力ではありましたが12年間務めさせていただきました。ご協力に対し厚くお礼申し上げます。



俳句

あすなる句会

椿 花田時子

一歩出て 見まわす里の 初茜

思ひ出は 幼き頃の 初景色

下市 今田文字

紅濃く 山茶花盛る 廃寺跡

初旅や 婦人の集ひ 山の宿

川上 岩田律枝

若き日の 面影偲ぶ 年賀状

七種や 健康願ひ 粥を食ぶ

上市 横田美恵子

新年や 友の訃報に 涙して

朝ぼらけ 視野一杯に 雪景色

椿 榎原敏子

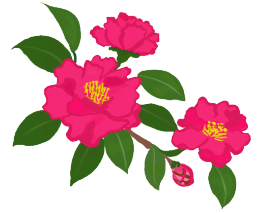
冬空や 魚釣り好きな 夫を待つ

入湯や 心も温もる 雪の宿

椿 柿丸寿枝

夫看とる ことにも慣れて 初笑

初電話 互の老を 労はりぬ



★おひな様募集!!

まちづくりセンターでは、各ご家庭で飾られなくなった「ひな人形」をお借りし、3月7日（水）に施設内に一堂に展示して、地域内の交流の場をつくりたいと考えています。ご協力ください。

2月3月行事予定



▼1日（木）タブレット説明会

午前10時～まちづくりセンターで

▼4日（日）ロケットストーブ作り

と防災食作り 午前9時半～

大代まちづくりセンターにて

▼7日（水）出張申告相談

受付 午前9時30分～午後2時

大代まちづくりセンターにて

▼18日（日）スリッパ卓球大会

午前9時～旧小学校体育館にて

▼20日（火）社協会議

▼23日（金）連合自治会

▼3/4（日）婦人会総会

▼3/7（水）おひな様イベント

▼3/11（日）田中公道氏

半寿（81歳）記念リサイタル

「あすてらす」にて公演

お知らせ

★大代地区社協より

平 原田隆幸様から

八反田 森 文雄様から

植松 渡利広司様から

香典返しにかえ御厚志を頂きました。

厚くお礼申し上げます。

編集後記

皆様お健やかに新春を迎えられた事

と思います。

昨年のご寄稿有難うございました。

本年も皆様からのより一層のご支援と

ご協力をお願い申し上げます。